

款	土木費	項	道路橋梁費
事業名	道路新設改良事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	818,791千円	財源内訳	国県支出金等 728,740千円 一般財源 90,051千円

【施策の概要】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善のために、次の工事を実施しました。

- ・幹線道路その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

■路線整備

①市道新治北132号線	L=200m	W=5.0m
②市道木田余130号線	L=222m	W=6.0m
③市道神立102号線	L=65m	W=8.0m
④市道西根69号線	L=205m	W=6.0m
外29件	L=5,701m	W=4.0m～8.19m

[平成24年度分]

財源内容 国県支出金71,604千円 市債431,600千円 一般財源71,562千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	86,305	33件 延長 9,305m
工事請負費	335,468	28件 延長 6,393m W=4.0～9.0m
交通安全施設工事	2,390	5件 区画線等
用地取得費	61,084	7,735㎡ 33路線
物件移転補償費	81,356	立木・工作物・電柱移設費等
役務費	6,271	鑑定料・登記料
事務費等	1,892	
合 計	574,766	

[平成23年度からの繰越分]

財源内容 国県支出金59,236千円 市債166,300千円 一般財源18,489千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	4,725	1件 延長 210m
工事請負費	239,300	20件 延長 3,256m W=4.0～10.0m
合 計	244,025	

[平成25年度への繰越分]

財源内容 国県支出金29,284千円 市債118,300千円 一般財源13,209千円
(単位：千円)

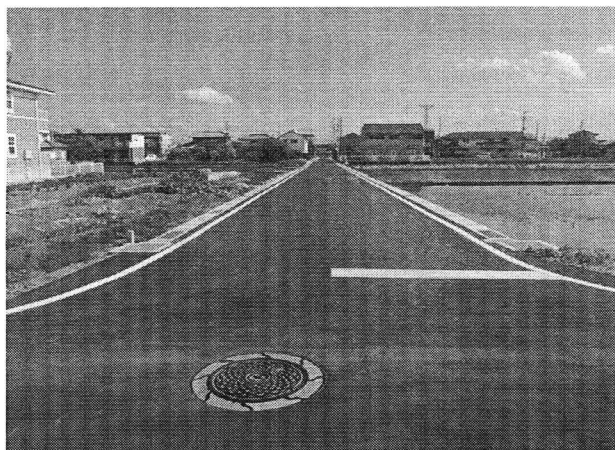
区 分	事業費	概 要
測量設計委託	5,008	2件 延長 330 m
工事請負費	155,785	15件 延長 2,547 m
合 計	160,793	

道路整備状況（平成25年4月1日現在）

市道全体延長	1,507,959	m	(6,890 路線)
改良済延長	696,246	m	(改良率 46.17%)
舗装済延長	1,154,917	m	(舗装率 76.59%)



市道新治北132号線



市道木田余130号線



市道神立102号線（歩道の増設）



市道西根69号線

【施策の成果】

幹線道路や狭い市道について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備促進が図られ、生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路新設改良事業（道整備交付金活用） 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	192,296千円	財源内訳	国県支出金等	178,005千円	一般財源	14,291千円

【施策の概要】

旧新治地区からのアクセス道路において、日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るため、道路改良工事を実施しました。

■路線整備

- ①市道虫掛66号線 L=319m W=9.0m
 ②市道新治南314号線 L=452m W=9.0m

[平成24年度分]

財源内容 国県支出金27,440千円 市債66,600千円 一般財源7,439千円
 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	80,005	5件 延長 771m W=9.0m
用地取得費	21,474	2,724㎡ 1路線
合 計	101,479	

[平成23年度からの繰越分]

財源内容 国県支出金29,165千円 市債54,800千円 一般財源6,852千円
 (単位：千円)

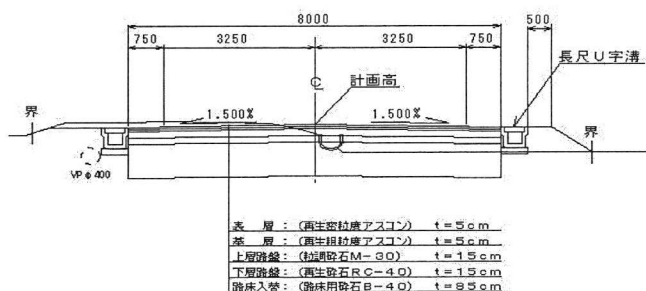
区 分	事業費	概 要
測量設計委託	3,965	1件 延長 560m
工事請負費	86,852	4件 延長 875m W=9.0m
合 計	90,817	

[平成25年度への繰越分]

財源内容 国県支出金24,324千円 市債62,000千円 一般財源3,309千円
 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	89,633	5件 延長 771m W=9.0m
合 計	89,633	

標準横断面



新治南314号線

【施策の成果】

道路用地を取得し、一部拡幅改良工事を実施することにより、主要幹線道路の整備促進が図られ、生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費	
事業名	道路新設改良事業 《合併特例債活用路線》			
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり			
決算額	94,669千円	財源内訳	国県支出金等 89,800千円	一般財源 4,869千円

【施策の概要】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善のために、次の工事を実施しました。

- ・幹線道路その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

■路線整備

- ①市道小山崎90号線 L=293m W=5.0m～5.5m
 ②市道Ⅰ級10号線 L=300m W=5.0m

[平成24年度分]

財源内容 市債78,400千円 一般財源4,182千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
用地取得費	6,783	1,701㎡ 1路線
物件移転補償費	16,148	
測量設計委託	5,376	3件 延長 1,220m
工事請負費	54,275	5件 延長 1,040m W=3.5～10.0m
合 計	82,582	

[平成23年度からの繰越分]

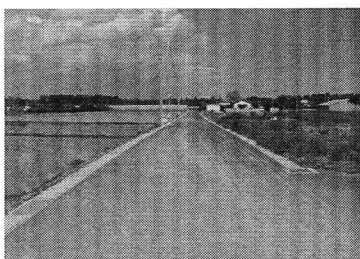
財源内容 市債11,400千円 一般財源687千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	12,087	1件 延長 200m W=5～5.5m
合 計	12,087	

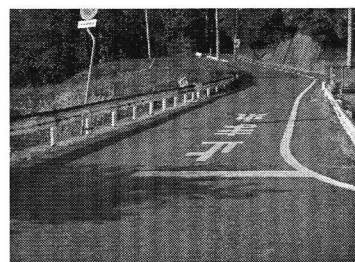
[平成25年度への繰越分]

財源内容 市債44,300千円 一般財源2,424千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	4,042	1件 延長 350m
工事請負費	42,682	3件 延長 448m W=3.5～10.0m
合 計	46,724	



市道小山崎90号線



市道Ⅰ級10号線

【施策の成果】

幹線道路や狭あいな市道について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備促進が図られ、生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費	
事業名	橋梁耐震対策事業			
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり			
決算額	24,774千円	財源内訳	国県支出金等 22,800千円	一般財源 1,974千円

【施策の概要】

地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るため、橋梁の耐震化工事を実施しました。

〔平成24年度分〕

財源内容 市債 6,600千円 一般財源 78千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概要
新川9号橋（通称 神天橋）耐震補強工事	6,678	耐震補強工事
合 計	6,678	

〔平成23年度からの繰越分〕

財源内容 市債 16,200千円 一般財源 1,896千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概要
東真鍋1号橋（通称 木田余立体橋）耐震補強工事	18,096	耐震補強工事
合 計	18,096	

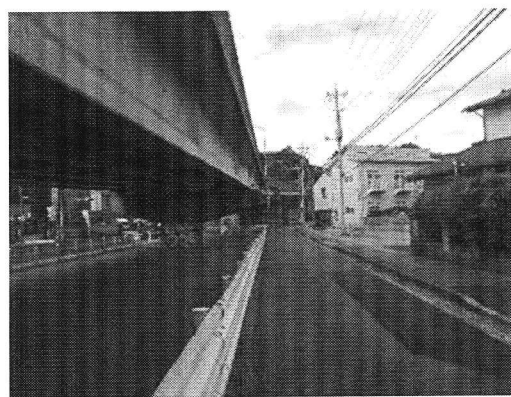
〔平成25年度への繰越分〕

財源内容 市債 13,200千円 一般財源 4,440千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概要
新川9号橋（通称 神天橋）耐震補強工事	14,595	耐震補強工事
桜川1号橋（通称 銭亀橋）耐震補強実施設計委託	3,045	耐震補強工事実施設計委託
合 計	17,640	



新川9号橋（通称 神天橋）



東真鍋1号橋（通称 木田余立体橋）

【施策の成果】

耐震補強工事により、橋梁の耐震性の向上が図られました。

款	土木費	項	河川費
事業名	都市下水路整備事業・小規模排水路整備事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	396,509千円	財源内訳	国県支出金等 292,900千円 一般財源 103,609千円

【施策の概要】

- ◎神立菅谷都市下水路施設整備工事（U4000mm×2700mm L=85m）
- ◎殿里都市下水路施設整備工事（U1500mm×1000mm L=72m）
- ◎西真鍋都市下水路施設整備工事（U2500mm×1800mm L=63m）
- ◎天川上高津都市下水路施設整備工事（U1800mm×1500mm L=120m）
- ◎西根竹の入都市下水路施設整備工事（U2400mm×1900mm L=49m）
- ◎中村東小規模排水路施設整備工事（U400mm×600mm外 L=158m）

[平成24年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概要
整備費	396,509	4件
合 計	396,509	

[平成25年度への繰越分]

(単位：千円)

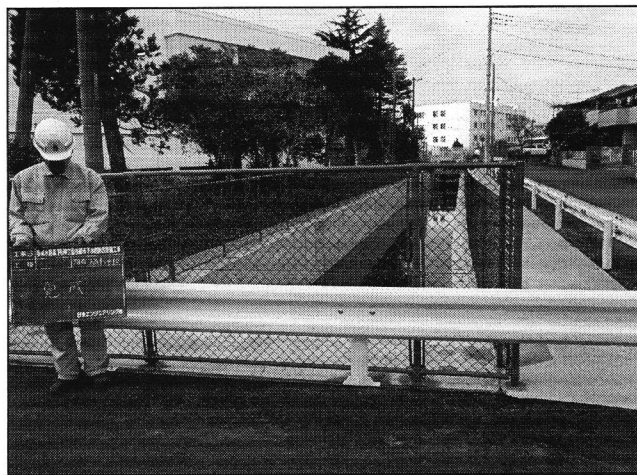
区 分	事業費	概要
整備費	65,560	2件
合 計	65,560	

[整備状況]

神立菅谷都市下水路整備工事



[着工前]



[完成]

【施策の成果】

5路線の都市下水路施設整備及び1路線の小規模排水路施設整備を行い、市民の生活環境の向上を図りました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	地域公共交通確保維持改善事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	9,186千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 9,186千円

【施策の概要】

○地域住民、企業、交通事業者、行政の連携の下、土浦市地域公共交通活性化協議会が事業主体となり、高齢者等の交通弱者への対応及び環境負荷の小さい交通体系の構築を図るため、以下の事業を実施しました。

(単位：千円)

科目	金額
地域公共交通活性化協議会負担金	9,044
バス運行対策費負担金	142
合計	9,186

■地域公共交通活性化協議会負担金について

○地域公共交通活性化協議会歳入

(単位：千円)

区分	金額	概要
負担金	9,044	市負担金
諸収入	6,185	地元負担金等
合計	15,229	

○地域公共交通活性化協議会歳出

(単位：千円)

区分	金額	概要
事業費	14,751	コミュニティ交通試験運行委託料等
会議費	478	委員報償費等
合計	15,229	

○事業費内訳

(単位：千円)

事業	金額
コミュニティ交通試験運行委託料等	10,426
公共交通ガイドブック印刷費	883
公共交通案内ホームページ維持管理更新	183
公共交通ガイドブック（点字版）作成謝礼	30
市民バスモニター用バス回数券	24
新治バス乗車体験用バス回数券	2
乗合タクシー拡充方策検討業務委託料	3,203
合計	14,751

※乗合タクシー拡充方策検討業務は、平成25年度に継続します。

○新治バス

新治バスは、平成23年10月から新治地区において、試験運行を開始したコミュニティバスで、運営については、土浦市地域公共交通活性化協議会の助言・協力の下、地元運営委員会が行っています。

地元運営委員会では、時刻表の作成及び配布、アンケートへの協力、ウォーキングイベントでのバスの利用、無料体験乗車週間の実施等の活動を行っています。



新治バス

【施策の成果】

「土浦市地域公共交通総合連携計画」に位置付けた各種施策を各事業者が実施することで、利便性の高い魅力ある公共交通体系の構築が期待されます。

新治地区のコミュニティ交通については、交通不便地域の解消を目的に導入されましたが、乗客数が少ないため地元運営委員会と協議の上、ダイヤ等を変更し、改善に努めました。

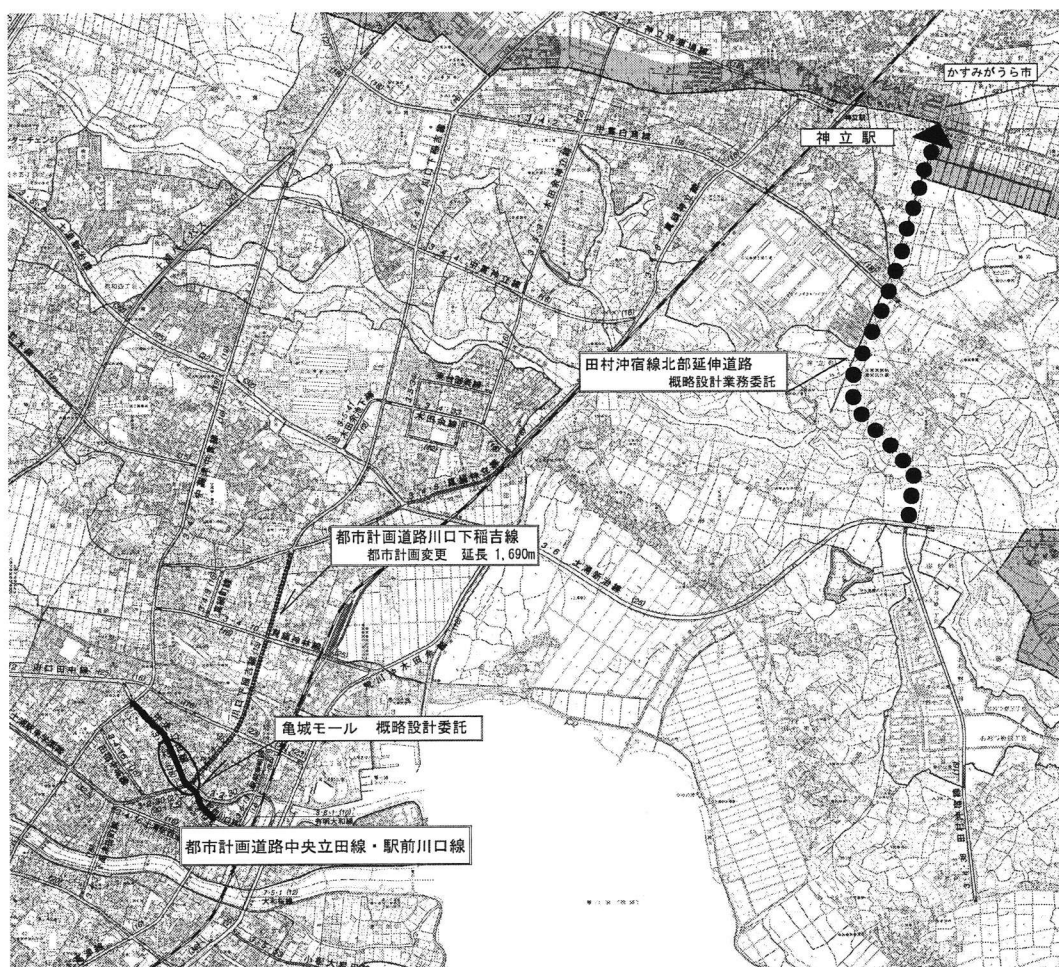
款	土木費	項	都市計画費
事業名	特定幹線道路整備調査事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	7,397千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 7,397千円

【施策の概要】

平成17・18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」の中で、優先整備路線の計画的な道路整備を進め、幹線道路網交通体系を確立し、円滑で安心、安全な交通体系を構築します。

(単位：千円)

区 分	事業費	備 考
都市計画変更基礎資料作成調査	4,148	都市計画変更検討路線 川口下稻吉線
田村沖宿線北部延伸道路概略設計業務委託	1,627	概略設計業務委託
亀城モール概略設計業務委託	1,592	概略設計業務委託 (1,470千円) 不動産鑑定 (122千円)
その他	30	地元説明会
合 計	7,397	



【施策の成果】

幹線道路網交通体系の確立により、円滑で安心、安全な交通体系が構築されます。

都市の効率的な整備を図るために、都市計画道路の変更のための基礎資料を作成しました。また、田村沖宿線北部延伸道路の概略設計を行い、協同病院が移転するおおつ野地区から神立駅東地区、かすみがうら市へ接続する広域幹線道路のルート検討や道路計画についての地元説明会を開催し、事業着手への基礎的な作業を行いました。

今後も、都市計画道路整備方針に基づき、都市計画変更や廃止を進めることにより、効率的な道路整備に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業						
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
決算額	8,203千円	財源内訳	国県支出金等	7,348千円	一般財源	855千円	

【施策の概要】

都市計画マスタープランの計画期間20年（平成16年～平成35年）の中間期に当たり、都市計画法の改正や少子高齢化の進展、低炭素社会の実現等社会経済状況の変化に対応した都市構造に対応するため、現在、旧土浦市、旧新治村においてそれぞれ策定している都市計画マスタープランを一本化し、見直します。

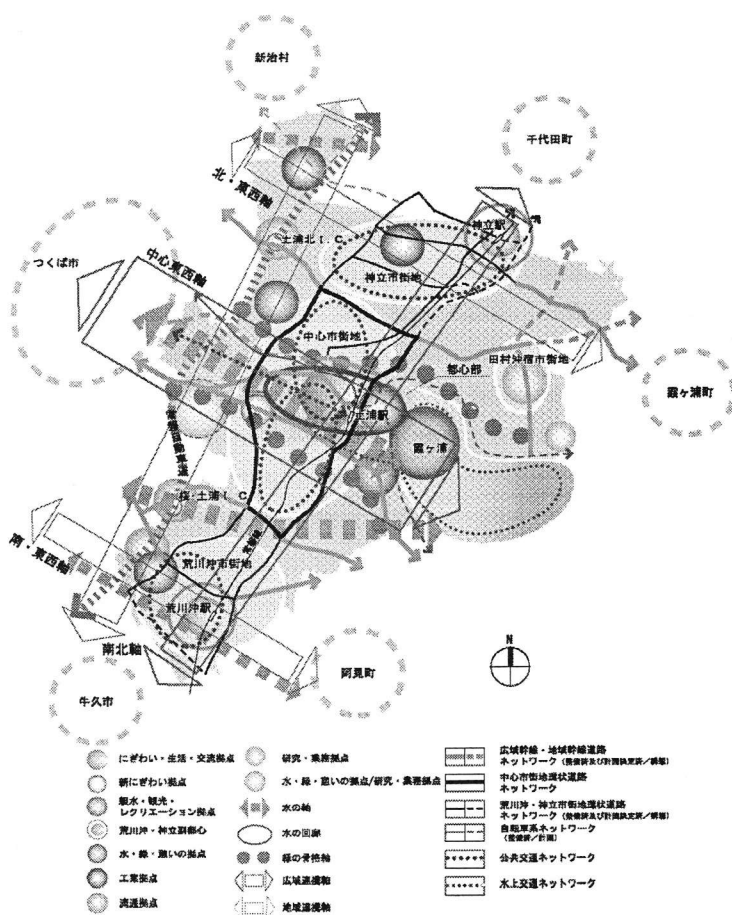
[平成24年度]

- ・現計画、各種統計、事業等の検証
- ・全体構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・まちづくりアンケート調査
- ・グループインタビューの開催
- ・地区別住民意見交換会の開催
- ・策定幹事会、策定委員会の開催
- ・都市計画審議会の開催

[事業費の内訳]

（単位：千円）

計画策定（見直し）委託料	7,348
委員等報酬	90
報償費	315
需用費（食糧費等）	36
役務費（通信運搬費）	414
計	8,203



(参考)

[平成25年度]

- ・地区別構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・地区別懇談会の開催
- ・計画案パブリックコメント
- ・策定幹事会、策定委員会の開催
- ・都市計画審議会の開催

【施策の成果】

平成24年度は、まちづくりアンケートやグループインタビュー、地区別住民意見交換会から得た市民の意見を反映させながら、全体構想案を作成し、策定幹事会・委員会や都市計画審議会において審議しました。

今後も、長期的視点に立って将来の目指すべき都市像を明らかにすることにより、個々の都市計画決定などまちづくりを行う上での必然性、妥当性を検証するための指針となります。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	かわまちづくり計画策定事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	1,859千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,859千円

【施策の概要】

◎かわまちづくり計画策定業務委託 1,859千円

かわまちづくり計画については、本市のまちづくり資源でもある霞ヶ浦や桜川などの水辺空間を活かして、良好なまちと水辺が融合した空間形成を推進することを目的としています。

平成24年度は、平成25年度の計画の策定に向けて、アンケート、河川管理者協議及び庁内連絡調整会議を実施しました。

かわまちづくりアンケート調査結果

水辺活用の意見		良いと思うところ		水辺活用の意見		良いと思うところ	
新川	遊歩道・自転車道の整備	32	桜がきれい	24	手勢町湖畔	遊歩道・自転車道の整備	17
	水質浄化	28	散策やサイクリングを楽しめる	3		水質浄化	11
	桜の活用・花見の場所	17	釣りを楽しめる	2		釣り場づくり	9
	釣り場づくり	12	土手で花火見学や遊びができる	2		泳ぐ場、観水の場	9
	公園・遊具設置	10	その他	7		川下り・水上スポーツ	8
	その他	80	意見数	39		眺望を活かしたカフェやレストラン	7
土浦新港・京成ホテル跡地周辺	意見数	179	意見数	39	土浦港・港町湖畔	意見数	53
	意見数	179	意見数	39		意見数	114
	川下り・水上スポーツ	40	ヨットの眺めや港の雰囲気が良い	10		眺望を活かしたカフェやレストラン	37
	眺望を活かしたカフェやレストラン	38	散策を楽しめる	5		川下り・水上スポーツ	30
	屋形船、遊覧船の運航	25	観光船がある	4		屋形船、遊覧船の運航	27
	公園・遊具設置	23	緑が豊か	4		遊歩道・自転車道の整備	22
桜川	遊歩道・自転車道の整備	20	水スポーツができる	4	旧桜川	遊歩道・自転車道の整備	24
	その他	96	ゴミや雑草がなくきれい	2		公園・遊具設置	16
	意見数	242	その他	7		水質浄化	15
	意見数	242	意見数	38		道路整備（歩道）	9
	遊歩道・自転車道の整備	58	桜がきれい	38		川下り・水上スポーツ	5
	川下り・水上スポーツ	46	桜川敷や土手がある	16		草刈り・ゴミ除去	5
備前川	公園・遊具設置	23	自然が豊か	8	霞ヶ浦湖岸・蓮河原町	意見数	121
	釣り場づくり	19	景色がよい	7		眺望を活かしたカフェやレストラン	45
	屋形船、遊覧船の運航	18	花火大会がある	5		遊歩道・自転車道の整備	42
	水質浄化	18	川下りを楽しめる	5		泳ぐ場、観水の場	39
	その他	115	その他	12		公園・遊具設置	29
	意見数	297	意見数	106		川下り・水上スポーツ	27
備前川	意見数	122	意見数	22	霞ヶ浦湖岸・蓮河原町	意見数	182
	意見数	122	意見数	22		意見数	308
	遊歩道・自転車道の整備	28	イオンに近い	5		眺望を活かしたカフェやレストラン	45
	水質浄化	16	花火が見られる	4		遊歩道・自転車道の整備	42
	釣り場づくり	11	眺めがよい	3		泳ぐ場、観水の場	39
	泳ぐ場、観水の場	6	桜がきれい	3		公園・遊具設置	29
備前川	川下り・水上スポーツ	5	釣りを楽しめる	1	霞ヶ浦湖岸・蓮河原町	意見数	182
	公園・遊具設置	5	散策を楽しめる	1		意見数	308
	その他	51	その他	5		眺望を活かしたカフェやレストラン	45
	意見数	122	意見数	22		遊歩道・自転車道の整備	42
	意見数	122	意見数	22		泳ぐ場、観水の場	39
	意見数	122	意見数	22		公園・遊具設置	29

かわまちづくり計画のイメージ



桜川お花見ドラゴンボート



桜まつり開催時（桜川）



NPOによる水中の清掃活動（霞ヶ浦湖岸 蓮河原町）

【施策の成果】

市民の水辺活用に関する意向を把握するため、アンケート調査を実施するとともに、河川管理者との協議を重ね、実現性の高い土浦市かわまちづくり計画の検討を進めることができました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	歴史の小径整備事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	8,688千円	財源内訳	国県支出金等 7,864千円 一般財源 824千円

【施策の概要】

◎歴史の小径整備事業

土浦城址を中心とした歴史的資源と道路との調和による独自の町並みの形成と、回遊性のある快適な歩行空間の創出により、中心市街地の活性化を図ります。

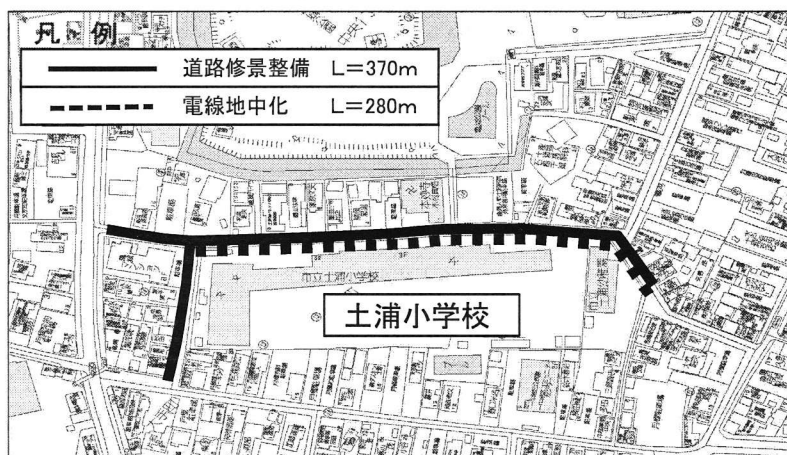
①事業期間：平成23年度～平成25年度 ②整備延長L=370m，整備幅員W=5.1～7.35m
[平成24年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	8,688	支障物撤去

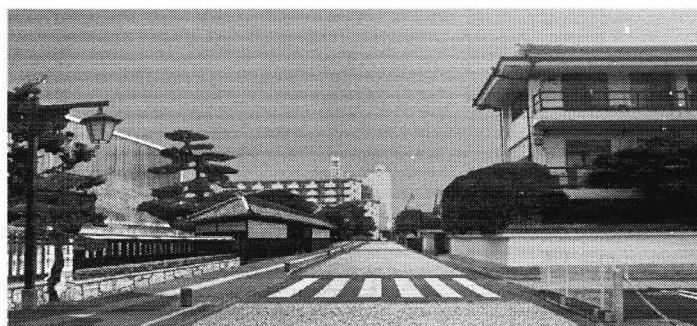
[平成25年度への繰越分]

(単価：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	90,193	電線地中化工事委託 (東電，NTT，ケーブルテレビ)



位置図



修景イメージ

【施策の成果】

本市固有の財産である歴史景観，都市景観の保全・維持及び歩道整備による安全性の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	
事業名	都市景観整備事業			
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり			
決算額	8,341千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 8,341千円

【施策の概要】

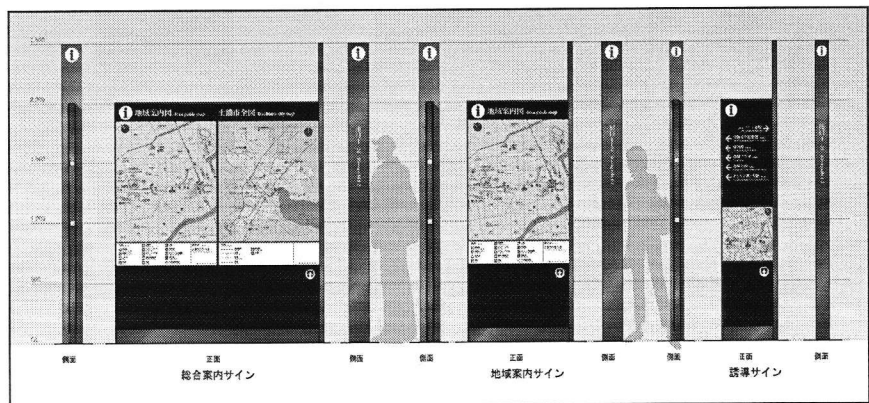
◎都市景観整備事業

(単位：千円)

区 分	事業費
公共施設景観形成ガイドラインの作成	3,150
公共サイン整備ガイドラインの作成	2,793
まちづくりファンド事業調査	2,047
景観審議会、景観アドバイザー制度の運営	165
景観重要建造物看板	147
需用費	1
合 計	8,303



公共施設景観形成ガイドライン



公共サイン整備ガイドライン

◎歴史の小径整備事業

事業費

- ・歴史の小径名称化選考委員会の開催 38千円



歴史の小径 通り名称一覧

【施策の成果】

景観計画に基づき、公共施設景観形成ガイドラインや公共サイン整備ガイドラインを作成し、本市の景観整備に活用していくこととしました。また、歴史の小径整備事業のソフト部門として、通りの名称化をすることにより、来街者の回遊性を高めることや市民に愛着を深めてもらうことが期待できるようになりました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	ノンステップバス導入促進事業		
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	1,200千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,200千円

【施策の概要】

バリアフリー新法の基本方針の改定に伴い、ノンステップバスの導入目標が約30%から約70%に引き上げられた（現在の本市におけるノンステップバス導入率は、38%）ことから、ノンステップバスの導入を推進し、高齢者や身体障害者など、交通弱者の社会参加に向けて移動手段の確保を図るため、ノンステップバス導入事業者に対して、国・県と協調して、補助を行いました。

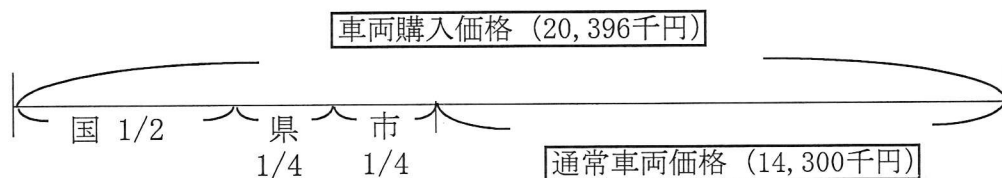
◎補助額決定の基本的な考え方

①(車両購入価格)×1/8

②{(車両購入価格)－(通常車両価格)}×1/4

①と②を比較し小さい方の額を補助→平成24年度は、②を採用

※決定方法②のより詳しい算出方法については、以下を参照



↓ 補助対象額＝車両購入価格－通常車両価格

補助対象額 (6,096千円)

↓ 市補助額＝補助対象額×1/4

市補助額 (1,524千円)

↓ 全走行路線距離の内、市内走行分の割合を考慮

- ・導入予定路線延長：23.2 km
- ・市内運行路線延長：21.0 km

補正後市補助額 (1,380千円)

↓ 県と協調して補助する観点から、
県の上限額 (1,200千円) を採用

土浦市補助額 (1,200千円)



ノンステップバス

【施策の成果】

バリアフリー化された路線バスを増やすことで、高齢者や身体障害者、車いす利用者、妊婦などあらゆるバス利用者に対して、移動手段を確保し、その利便性を高めることができました。さらに、地域公共交通の利用促進につながり、公共交通の維持・活性化にも寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費・都市計画費
事業名	バリアフリー推進事業		
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	9,367千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 9,367千円

【施策の概要】

土浦市バリアフリー基本構想に基づき、総合的なバリアフリー化の促進を図るため、利用者・事業者・行政の連携の下、バリアフリー特定事業として、以下に掲げる事業を実施しました。

〔バリアフリー特定事業の実施〕

- ・土浦駅東口タクシー乗り場バリアフリー化工事
- ・荒川沖駅東西口タクシー乗り場バリアフリー化工事
- ・荒川沖駅西口点字ブロック等改修工事
- ・荒川沖東三丁目1号線 舗装打換工事

〔その他〕

- ・バリアフリー推進協議会運営
- ・バリアフリー教室（視覚障害の疑似体験等）の開催
- ・バリアフリーパンフレットの作成



荒川沖駅西口点字ブロックの補修



バリアフリー教室

〔バリアフリー推進事業 事業費内訳〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概要・備考
土浦駅東口タクシー乗り場バリアフリー化工事（都）	1,260	段差の解消
荒川沖駅東西口タクシー乗り場バリアフリー化工事	2,562	段差の解消
荒川沖駅西口点字ブロック等改修工事（都）	998	視覚障害者対応工事
荒川沖東三丁目1号線 舗装打換工事（道）	3,791	集水枡グレーチング交換
バリアフリー推進協議会運営（都）	612	委員報償費等
バリアフリー教室の開催（都）	5	車いす体験・高齢者疑似体験
バリアフリーパンフレットの作成（都）	139	こころのバリアフリー周知
合 計	9,367	

※（道）：道路橋梁費 （都）：都市計画総務費

【施策の成果】

タクシー乗り場における歩道と車道の段差解消や視覚障害者誘導ブロックの改修、目の細かいグレーチングへの交換・補修を行うことで、高齢者や障害者を含む全ての人の移動円滑化と利便性向上に寄与しました。また、バリアフリー教室及びバリアフリー啓発パンフレットの作成及び配布を通して、心のバリアフリーの醸成を図りました。

これらの施策は、バリアフリー推進協議会で適切な管理を行い、当事者参画を推進することによって、より利用者の視点に即した整備ができました。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	既存建築物耐震化推進事業						
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり						
決算額	2, 222千円	財源内訳	国県支出金等	1, 461千円	一般財源	761千円	

【施策の概要】

「土浦市耐震改修促進計画」に基づき，昭和56年法改正以前の木造住宅を対象に耐震改修を行い，耐震診断を行った住宅を対象として耐震改修計画作成費及び耐震改修費を補助することによって，住宅の耐震化を促進し，地震に強く，市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを目指すものです。

〔平成24年度実施状況〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概要
木造住宅耐震診断事業	1, 820 (35千円×52戸)	昭和56年法改正以前の木造住宅を対象に茨城県木造住宅耐震診断士を派遣し，耐震診断を行うことで危険度の認識を図るとともに，耐震改修を促進する。
木造住宅耐震計画作成費補助事業	100 (100千円×1戸)	耐震診断を実施した住宅のうち，危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震改修計画作成費を補助する。
木造住宅耐震改修工事費補助事業	300 (300千円×1戸)	耐震計画作成した住宅を対象に，危険度の高い住宅の耐震改修工事費（上部構造評点が0.3以上上昇し，かつ1.0以上となる工事）を補助する。
耐震改修促進事業 (耐震診断士意見交換会)	2 (飲物代98円×17本)	実際に耐震診断を行っている診断士との意見交換会を開催し，情報を把握することにより，耐震改修の促進策を検討する。
合 計	2, 222	

〔過去の実績推移〕

(単位：件)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	合計
木造住宅耐震診断事業	100	300	20	20	20	20	106	52	638
木造住宅耐震計画作成費補助事業	－	－	－	－	2	2	2	1	7
木造住宅耐震改修工事費補助事業	－	－	－	－	1	1	2	1	5



←耐震診断の様子

【施策の成果】

平成23年3月の東日本大震災により，24年度の診断件数も多くなっています。
今後も事業を引き続き継続することにより，市民の耐震性に対する意識が高まり，住宅の耐震化が進むことで，まち全体の地震に対する安全性の向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	69,542千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 69,542千円

【施策の概要】

[事業の概要]

◎土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合負担金 69,542千円

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に行い、駅前にふさわしい市街地を形成します。

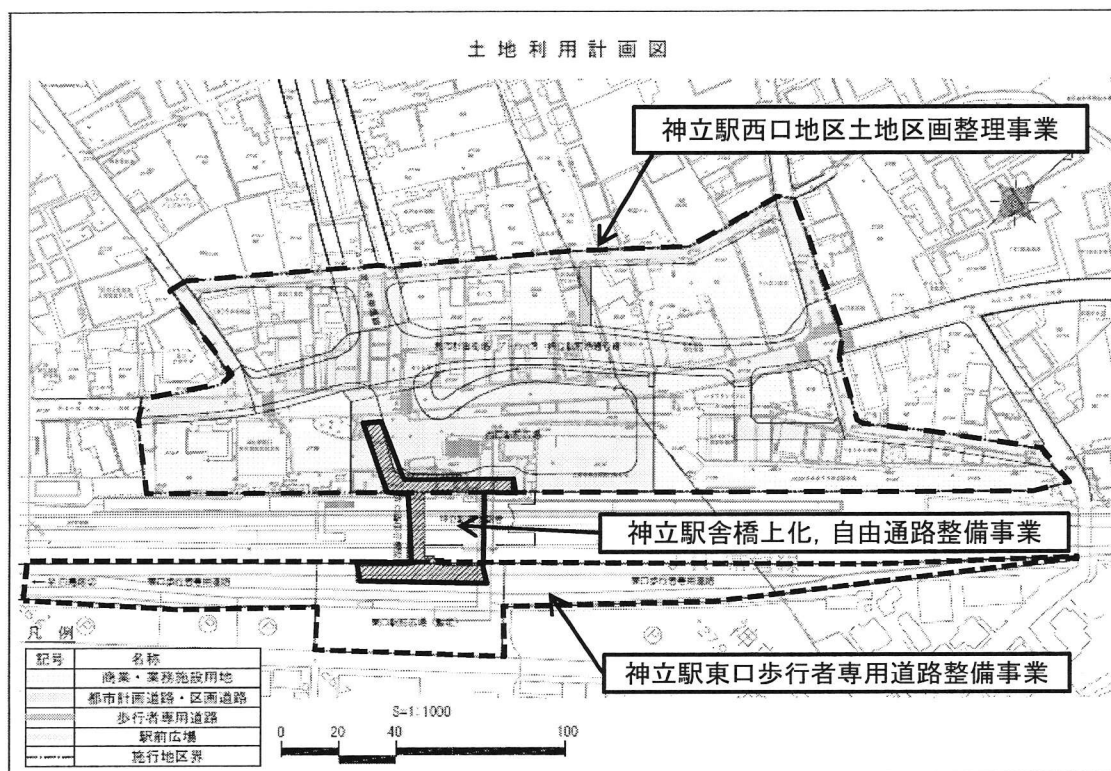
- ・地区面積 約2.2ha（土浦市 1.3ha，かすみがうら市 0.9ha）
- ・権利者 39人（土浦市 26人，かすみがうら市 13人）
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線W=22m，L=約20m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む）
都市計画道路神立駅前西通り線W=12～15m，L=約210m
- ・事業費 約55.5億円

[事業経過]

- ・平成13年度 神立駅地区街区整備計画策定
- ・平成18年度 神立駅西口地区土地区画整理事業B調査
- ・平成23年度 神立駅西口地区土地区画整理事業等の都市計画決定
- ・平成24年度 神立駅西口地区土地区画整理事業の事業計画決定

[関連事業]

- ・神立駅舎橋上化・自由通路整備事業，神立駅東口歩行者専用道路整備事業



【施策の成果】

平成24年11月19日に県から事業認可を取得，同日，土地区画整理事業の事業計画を決定し，減価買取，建物補償調査，測量及び神立駅橋上化・自由通路の基本設計を行い，神立駅を中心とした健全で活力のある市街地形成の推進に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	川口田中線・木田余神立線・神立停車場線街路事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	26,424千円	財源内訳	国県支出金等 19,300千円 一般財源 7,124千円

【施策の概要】

◎川口田中線

平成21年5月に供用開始したホテルマロウド前交差点から国道354号交差点（城北町）までの区間（延長L=296m）に引き続き、国道354号交差点（城北町）から土浦警察署西側交差点までの区間を整備することで、川口田中線の全線開通を図り、市街地内の東西軸道路ネットワークを構築します。

①事業期間（Ⅲ期）：平成21年度～平成25年度 ②整備延長L=469m，整備幅員W=16m
[平成24年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	14,693	道路改良工事
公有財産購入費	0	
補償補填及び賠償金	0	
委託料等	3,493	復元測量等
合 計	18,186	

[平成25年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	24,306	
公有財産購入費	24,920	
補償補填及び賠償金	42,190	
合 計	91,416	



位置図

◎木田余神立線

整備を進めていた木田余土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場）までの区間（延長L=800m）については、平成24年7月に供用開始しました。引き続き、Ⅱ期分として、都市計画道路中貫白鳥線（神立病院付近）から北側の未整備区間の整備に着手し、南北軸の道路ネットワーク強化を図ります。

①事業期間：平成24年度～平成31年度 ②整備延長L=300m，整備幅員W=12m
[平成24年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料等	2,999	基礎調査
合 計	2,999	



平成24年度供用開始区間

都市計画道路木田余神立線Ⅱ期
L=300m



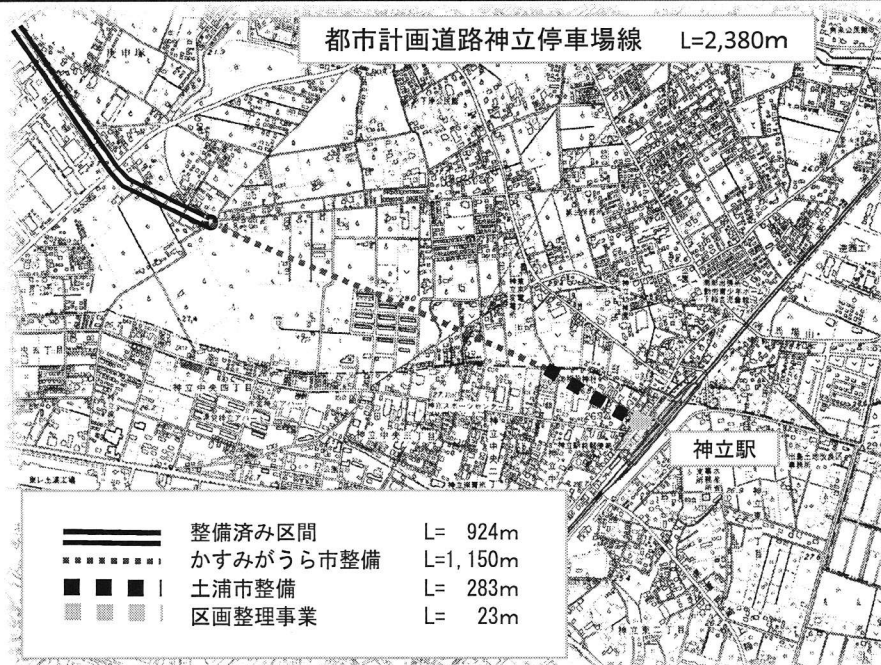
位置図

◎神立停車場線

本市とかすみがうら市において現在進めている神立駅西口地区土地区画整理事業による駅前広場（約4,800㎡）の整備に併せて、駅前広場から国道6号線間の道路ネットワークを両市が一体となり整備するものです。

- ・ 全体整備延長（土浦市神立中央一丁目～かすみがうら市下稻吉）L=2,380m
- ①事業期間：平成23年度～平成29年度 ②整備延長L=283m，整備幅員W=22m
[平成24年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	5,239	用地測量，詳細設計
合 計	5,239	



位置図

【施策の成果】

交通アクセスの向上はもとより，中心市街地及び周辺地区の交通混雑が緩和されるとともに，歩道整備による安全な歩行空間の確保を図るなど，円滑で快適な交通体系を構築します。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	常名・虫掛線街路事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	169,501千円	財源内訳	国県支出金等 162,443千円 一般財源 7,058千円

【施策の概要】

◎常名虫掛線

運動公園進入路として、また、市街地と国道125号線を結ぶ幹線道路として整備を図ります。

都市計画決定延長 L=2,000m (区間内訳 市道部 L=1,345m 県道部 L=655m)

①事業期間：平成22年度～平成26年度 ②整備延長 L=1,440m, 幅員 W=16m)

[平成24年度分]

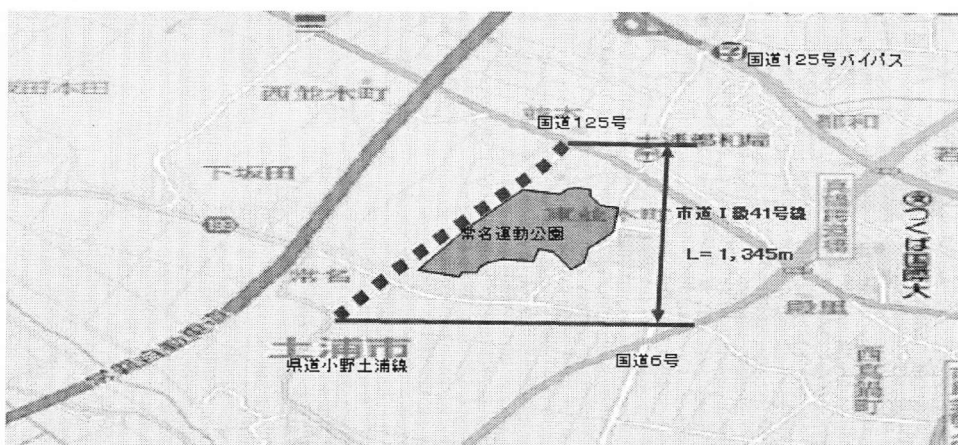
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	156,343	伐採・伐根 改良工事
公有財産購入費	5,767	
補償補填及び賠償金	5,856	
委託料等	1,535	埋蔵文化財発掘調査
合 計	169,501	

[平成25年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	220,656	改良工事
補償補填及び賠償金	1,299	水道管移設
委託料等	11,183	埋蔵文化財発掘調査
合 計	233,138	



位置図

【施策の成果】

常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	朝日トンネル整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	284,260千円	財源内訳	国県支出金等	269,606千円	一般財源	14,654千円

【施策の概要】

- ・ 全体整備計画延長（石岡市柴内～土浦市大志戸）
L=3,660m（土浦市側L=1,637m）
※うち、トンネル部L=1,784m（土浦市側L=732m）
- ・ 事業期間 平成19年度～平成25年度

[平成24年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料（県）	95,390	トンネル設備工事
委託料（県）	8,700	環境調査（生態・植物・水文）等
委託料（市）	3,629	開通式典運営，草刈り，パンフレット作成等
工事請負費	172,767	道路改築工事，法面防護工事等
需要費等	3,774	P R看板等
合 計	284,260	

[平成25年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託（県）	8,610	平成25年度への繰越（トンネル設備工事）
合 計	8,610	

位置図



【施策の成果】

朝日峠を走行性・安全性に優れたトンネル構造の新たな道路として整備することで、移動時間の短縮や広域的な交通アクセスを向上させるとともに、周辺地域との連携強化を図り、観光振興や産業振興などを促進することにより、新治地区と中心市街地など他の地区との均衡ある発展に寄与するものです。

開通日：平成24年11月12日（月）

款	土木費	項	都市計画費
事業名	公園・緑地管理事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	109,023千円	財源内訳	国県支出金等 3,937千円 一般財源 105,086千円

【施策の概要】

◎ 都市公園整備事業

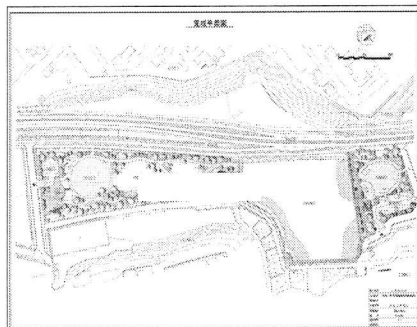
良好な風致、景観を備えた地域環境を形成し、自然との触れ合いを通じて心身共に豊かな人間形成に寄与すると共に、安心安全に遊べるレクリエーションの場を整備しました。

(単位：千円)

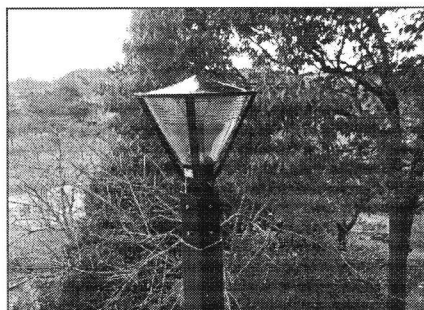
施設又は事業の区分	事業費	事業の概要
都市公園	9,919	遊具更新 2基, トイレ更新 1基, 亀城公園浄化施設改修 1基
(仮称) 川口二丁目地内暫定広場	57,992	広場整備 A=3ha
乙戸沼公園	7,998	ジョギングコース整備 L=1,383m W=3.5m
(仮称) 赤池公園	1,890	基本設計 A=2.1ha
霞ヶ浦総合公園	22,561	風車塗装塗替 1基, テニスコート日除設置 3基
都市緑化	8,663	生田緑地園路灯設置 7基, 緑化フェア開催
合 計	109,023	



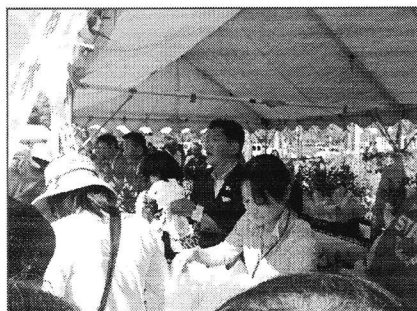
霞ヶ浦総合公園風車塗装工事



(仮称) 赤池公園計画平面図



霞ヶ浦総合公園園路灯LED化工事



都市緑化フェア
[平成24年10月13日(土)開催]

【施策の成果】

老朽化しているトイレ、遊具等の改修や園路灯の整備等により、利便性・安全性の向上を図ることができました。また、草花等の植栽により快適で潤いのある都市景観の形成に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	新治総合運動公園整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	50,313千円	財源内訳	国県支出金等	47,300千円	一般財源	3,013千円

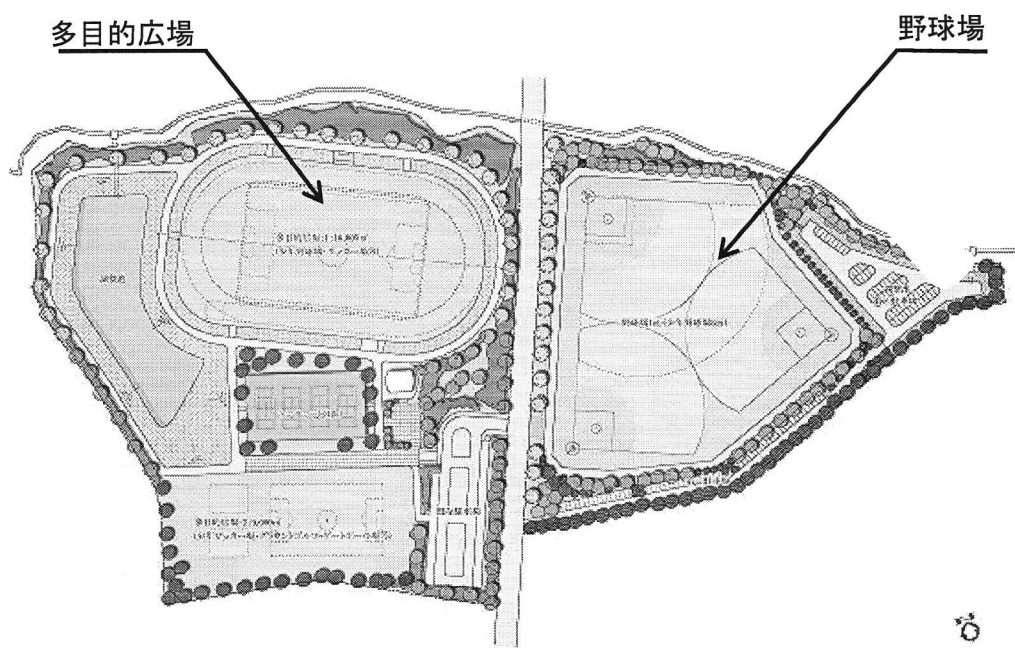
【施策の概要】

◎ 新治総合運動公園整備事業

多目的広場の改修及び一般用野球1面及び少年野球用3面併用の野球場整備のための造成工事を実施しました。

(単位：千円)

施設の区分	事業費	事業の概要
新治運動公園	50,313	多目的広場グランド路面改修及び野球場造成工事
合 計	50,313	



新治総合運動公園計画図

【施策の成果】

新治運動公園内の運動施設の改修により、市民の健康増進やスポーツの振興に寄与しました。

土浦駅周辺のまちなかのエリアについて、公共施設の導入やまちなか居住の促進等によるコンパクトシティへの転換、また、親水性や歴史性を活かした付加価値の高いまちづくりを推進するため、グランドデザイン（都市機能の配置計画）を策定しました。

